

## 別記第1

### 様式第5

平成29年 6月20日

## 平成28年度の主な事業報告

社会福祉法人 天水福祉事業会

### 社会福祉事業

#### 高齢者福祉事業

特別養護老人ホームケアビレッジたがの里等を運営する社会福祉法人若宮福祉会は、運営基盤強化のため、平成28年8月1日付けを持って社会福祉法人天水福祉事業会と合併した。それを契機にケアビレッジたがの里は、関係者のご努力により定員が20名から本来の地域密着型施設の定員29名に増床を図ることが出来た。また、ショートステイの定員は10名から1名に減ったが、ケアビレッジたがの里のその29床を空床型ショートステイとして活用できることになった。

#### ①ケアビレッジたがの里

当施設と関係の深い居宅介護支援事業所、病院、地域包括支援センター等を訪問し当施設のPR活動（増床の件含む）に積極的に取り組んだ結果、当施設の認知度を高め、入所相談・照会、家族の見学等に結び付き、8月以降ほぼ定員（29名）に応じた入居をいただくことが出来た。一方で、待機待ちの方もいらっしゃるので、空床ができた際は、速やかに対応し、入居希望の方の期待に応えたい。

入居いただいた方々の状況は、月平均利用者数20名、男性25.0%、女性75.0%、平均要介護度は、2.7であった。特例入居（介護度1～2）を希望される方々からの要望も多く寄せられたことから特別養護老人ホーム入居基準の要介護度3を下回った。

行事としては、各ユニット（3ユニットあり）嗜好を凝らし、団子やケーキ作

り、ペタンク大会・カルタ取り大会、ドライブ、そして大きな行事として天水つながらる夏祭り・若宮天子宫大祭・喫茶タイム・敬老会・クリスマス会・忘年会等、更には当施設に隣接する小天保育園の園児のふれあい訪問やボランティア団体の訪問が随時行われ、入居者の皆様には有意義な時間を過ごしていただけたものと思われる。

給食の提供状況は、入居者様の嗜好や健康状態に応じ献立を工夫し普通食・ミキサー食・ムース食を提供した。また、月々の行事に応じ行事食（花祭り、土用の丑の日、敬老会、お月見、忘年会、おせち、節分、ひな祭り等）を提供し、舌鼓を打ってもらった。入居者様にたくさんの笑顔が見られた。

一方で、入院・通院については、延べ12名の方が入院、延べ75名の方が通院、延べ12名の方が救急外来を受診された。引き続き入居者様の健康管理に努める必要がる。

職員への取り組みとしては、スタッフの質の向上のため介護技術向上委員会等9専門委員会を開催するとともに、リーダー研修・介護実習研修・認知症介護実践研修等外部研修にも参加した。2名が社会福祉主事、1名がケアマネの資格を取得した。また、2名がユニットケア施設管理者研修を、2名がユニットリーダー研修を受講しユニットケアの推進に努めている。

## ②ショートステイ

昨年8月1日の法人合併により定員が10名から1名、空床型29名となった。空床型のショートステイを利用された方はいなかったが、1床の稼働率は77.8%であった。居宅介護支援事業所等関係機関を訪問するなど引き続き稼働率を上げる取り組みが必要である。

ご利用いただいた方々の状況は、月平均利用者数が2.8人でうち男性が9.1%、女性が90.9%、平均要介護度は、2.6であった。

行事としては、嗜好を凝らし、団子やケーキ作り、室内運動会・伝承遊び、ドライブ、そして大きな行事として天水つながる夏祭り・若宮天子宫大祭・喫茶タイム・敬老会・忘年会等、更には当施設に隣接する小天保育園の園児のふれあい訪問やボランティアの訪問が随時行われ、ご利用者の皆様には有意義な時間を過ごしていただけたものと思われる。

給食の提供状況は、ケアビレッジたがの里同様ご利用者の嗜好や健康状態に応じ献立を工夫した食事を提供した。また、月々の行事に応じ行事食（花祭り、土用の丑の日、敬老会、お月見、忘年会、おせち、節分、ひな祭り等）を提供し、舌鼓を打ってもらった。利用者様にたくさんの笑顔が見られた。

職員への取り組みとしては、スタッフの質の向上のため介護技術向上委員会等9専門委員会委員会等を開催するとともに、リーダー研修・介護実習研修・認知症介護実践研修等外部研修にも参加した。

### ③小規模多機能ホーム きらめき

ご利用いただいた方々の状況は、定員15人であるが、月平均利用者数12人、男性41%、女性59%、平均要介護度は、2.0であった。

行事としては花見ドライブ・寿司作り、そして大きな行事として慰問演奏会・敬老会・忘年会等、更には当施設に隣接する小天保育園の園児のふれあい訪問や歌ボランティアの訪問が行われ、ご利用者の皆様には笑みも見られ有意義な時間を過ごしていただけたものと思われる。

給食の提供状況は、ご利用者の状況に応じ献立を工夫した食事を提供した。また、月々の行事に応じ行事食（敬老会、忘年会、おせち、節分、ひな祭り、花祭り等）を提供し、利用者様にたくさんの笑顔が見られた。

職員への取り組みとしては、スタッフの質の向上のため介護技術向上委員会等専門委員会にて学んだり、また、認知症介護実践研修等の外部研修にも参加した。

安心した生活を支える小規模多機能型居宅介護に取り組んできた。具体的には、一つ目は本人の思いや願いを叶える支援、二つ目は24時間365日「その人らしい暮らし」を支える支援、三つ目は馴染みの地域で暮らし続けることの支援、四つ目は地域との支え合い、この四つに取り組んだ。

#### ④地域貢献

##### (1) 一時生活支援事業

この事業は、玉名市からの委託事業で、生活困窮者で住まいの場がない方2人（男性2人）に住まいの場や食事を提供した。1人は住居がなく病気もされていたため、住居を確保し生活保護を受け治療に専念されている。1人が住居を確保し生活保護を受けながら就職活動を行っている。

##### (2) レスキュー事業

玉名市からの依頼で生活困窮者2人（男性2人）に住まい・食事の提供、ライフライン代の支援、食材の支援、通院代の支援を行った。支援金額は合計58,812円であった。うち1人が生活保護を申請、うち1人は県外の出身地に帰られた。今後も法人の地域貢献の一環として引き続き本事業を継続する。

##### (3) ポールケアあるく

「100歳まで歩ける体力づくり」をモットーに、本法人がある天水の地域ばかりでなく広く荒玉地域にお住まいの御高齢の方々の健康づくりのお手伝いを実施している。年間42回開催し、延べ380人1回当たり9.0名の方にご利用いただいた。利用者の皆さんからは、「腰が伸びた。」「久しぶりに長い距離を歩けるようになった。」「体調を壊して休んでいたがまた（健康の為）やりたくなって参加した。」といったありがたい言葉をいただいた。御高齢の方々が住み慣れた

地域で健康に暮らしていただく上では有効と思われる事業であるため引き続きこの事業を継続する。

#### 公益事業

なし

#### 収益事業

ふれあいホーム ひまわり

地域の方々誰もが低料金でご利用いただける住まいの場である。年度途中で退居された方々を含み10名の方（男性4名、女性6名）にご利用いただいた。地域の方々にもっと利用していただくため引き続きこの事業を継続する。